

## 平成 21 年度 第 6 回病院局経営戦略会議概要

日 時：平成 21 年 9 月 17 日（月） 午後 3 時 00 分～午後 5 時 00 分

場 所：県庁 10 階 管理者室

出席者：病院局 病院事業管理者、病院局長、総務課長、  
経営企画課長 ほか

病院 三好病院長、海部病院長、中央病院副院長、  
各県立病院看護局長、各県立病院事務局長 ほか

### (1) 平成 21 年度決算見込み（7 月末）について

#### 【説明】病院局経営企画課 予算経理担当

平成 21 年度の決算見込みについて示す。

#### 【質疑等】

**管理者：**研究研修費/医業収益については、他県と比較しても高い傾向にある。研究研修費を減らすつもりは全くないが、研修へ行った人がその報告会を行ったり、学会の前後で予演会や報告会を行うことで、その成果を還元しなければならず、その管理を幹部職員が指導していかなければならない。

**管理者：**「経営の安定」は目的ではなく手段に過ぎないが、より良い医療を提供するためには意識してもらいたい。平成 24 年度より中央病院改築の減価償却が始まることや、勤務医不足による経営の低迷という悪循環を断ち切るために、仕事のあり方を見つめ直す作業が必要である。

**管理者：**医療の品質管理が重要である。委託業者へも、当然求めていくべきものである。

### (2) 平成 21 年 4 月～8 月の患者数動向について（日報分析）

#### 【説明】病院局経営企画課 経営戦略担当

平成 21 年 4 月～8 月の患者数動向について、前年度及び前々年度等との比較を示す。

#### 【質疑等】

**管理者：**精神科の平均在院日数は、都道府県別で平成 15 年度までは徳島県が全国で一番長く、平成 16 年度から平成 19 年度までは 2 番目に長い。精神医療は県が担っていかなければならず、急性期医療として平均在院日数も気にしなければならない。

**三好病院：**三好病院では、個々の医師が、他の医師への負担を考慮し、退院できる患者については退院させていたため、8 月の患者数に響いている。

**管理者：**それは、ファインチームワークで乗り切ってもらいたい。「怒（思い

やり)」が必要である。

**管理者：**海部病院では、医師不足が顕著であるが、中央病院から応援診療を行ってもらっている。これも「思いやり」であり、感謝している。

**管理者：**中央病院では、改築工事が始まるに伴って、入院患者の環境は悪くなる。それでも、「医療のことなら中央病院」と県民に信頼してもらえるように頑張ってもらいたい。

### (3) 医療安全について

#### 【説明】中央病院

中央病院における医療安全の取り組みとして、平成 20 年度の活動報告や、インシデント・アクシデントの状況を示すとともに、平成 21 年度に行った取り組みと、これからの予定について説明する。

#### 【質疑等】

**管理者：**医療事故想定訓練の実施は、三好病院及び海部病院についても行っていくこと。

**管理者：**資料にあるカンファレンスとはどのようなものか。

**中央病院：**どんなことでも報告できる会議であり、毎月行っている。

**海部病院：**海部病院でも行うようにして、活発な会議にしていきたい。

**管理者：**暴力対策研修は、3病院合同で行っても良いのではないか。

#### 【説明】三好病院

三好病院における医療安全の推進体制や、平成 20 年度の活動報告及びインシデント・アクシデントの状況を示すとともに、平成 21 年度の取り組み、医療安全センター等の活動実績を説明する。

#### 【質疑等】

**管理者：**3階病棟におけるインシデント・アクシデントの状況は、前年度に比べ増加している。診療科の特性等もあるのだろうが、増加していることは課題であり、対策を練らなければならない。

**管理者：**三好病院では、平成 19 年 12 月 26 日に医療事故が発生した。このことを認識し、二度と起こさないための日頃の対応が必要である。そのことを、職員にもしっかり徹底すること。

#### 【説明】海部病院

海部病院における医療安全の組織や、その各組織の役割、インシデント・アクシデントや医療事故に対する対応を示し、これからの医療安全対策の課題を説明する。

#### 【質疑等】

**管理者：**インシデント・アクシデントレポート件数について、医師が 0 件とい

うのは問題である。

**管理者：**職員は「身体拘束」について、何ヶ月かに一度は体験する機会をもった方が良い。

**管理者：**努力をしても、人間は間違える。不幸にして、医療事故が起きた場合は、その後の対応が重要である。患者やその家族へ誠実に対応することは勿論であるが、病院職員への対応も適切に行っていただきたい。全職員に対して、事故の概要、事故原因等を正確に伝え、事故に対する病院の考え及び対応を示し、職員に認識してもらうようにすること。

#### (4) その他

##### ・平成 22 年度当初予算編成方針について

##### 【説明】病院局経営企画課 予算経理担当

平成 22 年度の予算編成方針を示す。

##### 【質疑等】

**管理者：**『「自立」と「自律」』及び『ファインチームワーク』が大切である。予算はもとより全てのことについて、病院局本局職員と病院の事務職員及び病院の現場職員が、コミュニケーションを取っていかなければならない。妨げとなる「制度的な壁」、「物理的な壁」、「心の壁」の中では、「心の壁」が一番ブレイクスルーしやすいものである。

##### ・次月分の病院局戦略会議の議題について

(「医療の確保と健全化をすすめる会」の開催について)

##### 【説明】病院局総務課 政策調整担当

「医療の確保と健全化をすすめる会」について説明する。

(平成 21 年度医療器械導入審査会に向けて)

##### 【説明】病院局経営企画課 企画管理担当

来月の経営戦略会議において、平成 21 年度医療器械導入審査会を行う旨の説明をする。